

第26回 同友会経済サミット

高度なグローバル人材が
活躍できるまち 浜松

提 言 書

「高度なグローバル人材の雇用とその環境」

～e コモンズ構想の実現に向けて～

令和2年3月26日（木）

浜 松 経 済 同 友 会

第26回 同友会経済サミット

代表幹事あいさつ	2
政策委員長あいさつ	3
サミットプログラム	4
第1部 特別講演「外国人にとって暮らしやすい街づくり」	5
第2部 提言「高度なグローバル人材の雇用とその環境」 ～e コモンズ構想の実現に向けて～	6
第3部 座談会「高度なグローバル人材が活躍できるまち 浜松」 ..	7
(参考) 「同友会サミット」経緯とテーマ	8
提 言 書	11
(資料) 外国人材サポートWG アンケート調査 (ハイライト)	29
(資料) 高度外国人材雇用・就労促進研究会名簿	35
(事務局) 資料等に関して	36

ご 挨拶



浜 松 経 済 同 友 会
代 表 幹 事 齊 藤 薫

本日 第26回「同友会経済サミット」開催にあたりましては 関係各位には多大なご尽力をいただきましたが 残念ながら新型コロナウイルス感染防止上 規模を縮小し関係者のみでの開催とさせていただきます。

本サミットでの提言策定にあたりましては 「高度外国人材雇用・就労促進研究会」による半年間にわたる熱心な議論やご教示により グローバル社会を迎えた「浜松」のあるべき姿をご示唆いただき本提言に至りました。

ここにあらためまして 研究会関係各位には心から感謝申し上げる次第でございます。

さて 少子化社会を迎えわが国の労働人口は急速に減少し 雇用確保が企業の存続に大きな影響をもたらす状況になってまいりました。

特に高度人材(大学卒)は 都市部に集中し地方都市では大変厳しい状況になっています。企業の継続的な発展のためには 優秀な人材確保は重要な課題ではありますが 日本人の雇用が困難になるなかで 最早外国人材に頼らざるを得ない状況にあるのではないと思います。

そのためには 経営者が覚悟を決めて高度外国人材の雇用を積極的に図るとともに 優秀な外国人材が浜松に集まり 浜松企業に就労し 浜松市民として活躍できる環境整備が必要になってきます。

今サミットでは 静岡文芸大学副学長 池上先生の基調講演をもとに 石川政策委員長より提言と座談会で議論させていただきます。

今サミットが 新しい浜松の多文化共生社会にむけての議論のはじまりなることを期待いたします。

提言にあたり



浜松経済同友会
政策委員長 石川 雅 洋

本日 第26回同友会経済サミットが 厳しい状況の中ではありますが何とか開催され政策委員会の活動成果として 提言の機会をいただきましたことに感謝申し上げます。

提言策定にあたりましては 昨年9月より「高度外国人材雇用就労促進研究会」が発足し 研究会メンバーの皆様にはお忙しいなか 毎月第2月曜日にお集まりいただき 高度外国人材の雇用・就労の促進に関して議論を重ねていただきました。

ここに提言書として鈴木浜松市長はじめ関係者の皆様に発表させていただけることは 研究会メンバーにとっても光栄であり大きな喜びであります。

このグローバル人材については 4年前の第22回同友会経済サミットで 当時の政策委員長松本好司氏(天方産業社長:当時)より はじめて問題提起させていただき 以来3回にわたり本サミットで議論してまいりました。昨年の入管法の改正や雇用環境が厳しくなる中で グローバル人材すなわち高度外国人材の必要性は 企業にとっても現実的な問題として認識されるようになり今回の提言に至った次第です。

雇用環境を取り巻く状況は 今後ますます厳しい状況になることは言うまでもありません。提言の中にもありますように 4年前に提言したeコモンズ構想を具現化し 企業の皆さんが積極的に高度外国人材を雇用する機運を高めていきたいと思えます。

そして 多くの外国人から「浜松で働き 浜松に住んで 家族と暮らしたい」と言われるような多文化共生都市「浜松」の一助になれば幸いです。

第26回 同友会経済サミット

《テーマ》

高度なグローバル人材が活躍できるまち 浜松

日時：令和2年3月26日(木)

13:00～17:00

会場：ホテルコンコルド浜松 雲海

プログラム

第1部(13:15～14:15)

ご挨拶

代表幹事 齊藤 薫

来賓祝辞

浜松市長 鈴木 康友

特別講演 「外国人にとって暮らしやすい街づくり」

静岡文化芸術大学副学長 池上 重弘

〈休憩15分〉

第2部(14:30～15:00)

提 言 「高度なグローバル人材の雇用とその環境」

～eコモンズ構想の実現に向けて～

政策委員長 (株)ソミック石川・社長 石川 雅洋

第3部(15:00～17:00)

座談会 「高度なグローバル人材が活躍できるまち 浜松」

座長・政策副委員長 ローム浜松・社長 江口 英和

浜 松 市 長 鈴木 康友

(独) 中小企業基盤整備機構 藤巻 義博
(静岡大学特任教授)

iN HAMAMATSU.COM代表 三井いくみ

COLORS代表 宮城ユキミ

(株)ソミック石川・社長 石川 雅洋

静岡文化芸術大学副学長 池上 重弘

「同友会経済サミット」経緯とテーマ (旧天竜川経済サミット)

◆第1回天竜川経済サミット 平成5年2月2日

テーマ: 「地域振興ビジョンと交通ネットワークについて」
基調講演: 建設省中部地方建設局道路部長 石河信一
基調講演: 静岡県西部行政センター所長 岩本茂之
首長発表: 「地域振興ビジョンについて」
栗原・浜松市長、森島・浜北市長、中谷・天竜市長
神谷・磐田市長、池田・竜洋町長、金原・豊田町長
森田・福田町長、佐藤・豊岡村長

◆第2回天竜川経済サミット 平成6年2月2日

テーマ: 「都市経営とリンケージ」
基調講演: 「広域連携をどのように考えるか」建設省 溜水義久
基調講演: 「今後の県勢発展と西部地域への期待」静岡県 長瀬哲郎
パネルディスカッション: 「都市経営とリンケージ」
栗原・浜松市長、森島・浜北市長、中谷・天竜市長
神谷・磐田市長、池田・竜洋町長、金原・豊田町長
森田・福田町長、佐藤・豊岡村長

◆第3回天竜川経済サミット 平成7年2月2日

テーマ: 「めざせ21世紀躍進する県西部地域」
基調講演: 「どう進める市町村の機能分担と連携」建設省 井上隆三
提言: 「明日をひらく広域一体のまちづくり」
パネルディスカッション: 「めざせ21世紀躍進する県西部地域」
石野正治(静岡経済研究所)
栗原 勝(浜松市長)、山本昌寛(湖西市長)
中谷良作(天竜市長)、山下 重(磐田市長)
河合 滋(河合楽器会長)

◆第4回天竜川経済サミット 平成8年2月7日

テーマ: 「県境を越えた都市連携」
基調講演: 「宅急便の秘訣」～物流と情報戦略～
ヤマト運輸(株)社長 宮内宏二
提言: 「遠州三河経済圏とインフラ整備」
座談会: 「県境を越えた都市連携」～提言実現に向けて～
座長:大坪 檀(静岡県立大学教授)
望月 総(アオキトランス社長)
小野誠一(浜松委託運送社長)
中山正邦(浜松倉庫社長)、中村捷二(中部ガス社長)
佐藤克明(静岡経済研究所)

◆第5回同友会経済サミット 平成9年2月5日

(天竜川経済サミット改称)

テーマ: 「浜名湖新都市圏の形成に向けて」
基調講演: 「21世紀は都市・デザイン・高い感覚の時代」
東京大学名誉教授 木村尚三郎
提言: 「浜名湖新都市圏の形成に向けて」
座談会: 「提言実現に向けて」
座長:大坪 檀(静岡県立大学教授)
山本昌寛(湖西市長)、磯村直英(ユタカ自動車総業社長)
鈴木将司(スズヤ社長)、戸田敏行(東三河地域研究センター)
佐藤克明(静岡経済研究所)、木村尚三郎(東大名誉教授)

◆第6回同友会経済サミット 平成10年2月18日

テーマ: 「浜名湖都市圏と国際園芸博」
基調講演: 「21世紀に向けた浜名湖都市圏」作家・経済評論家 堺屋太一
提言: 「園芸博に期待するもの」
座談会: 「魅力ある国際園芸博に向けて」
座長:森下慶子(ケーピー社長)
森 延彦(県国際園芸博準備室長)
神野義郎(豊橋鉄道社長)
中村捷二(中部ガス社長)

◆第7回同友会経済サミット 平成11年2月17日

テーマ: 「新時代に向けた県西部都市圏の実現」
～広域行政と政令都市～
基調講演: 「21世紀の都市経営のあり方」～都市経営の破綻～
静岡県立大学教授 北大路信郷
提言: 「県西部市町村合併と政令都市に向けたプロローグ」
座談会: 「県西部の広域都市圏を考える」
座長:北大路信郷(静岡県立大学教授)
栗原 勝(浜松市長)、山本昌寛(湖西市長)
鈴木 望(磐田市長)、藤田源左衛門(雄踏町長)
長山芳正(引佐町長)

◆第8回同友会経済サミット 平成12年2月17日

テーマ: 「県西部地域の政令都市を考える」
～都市の経営と効率化のために～
基調講演: 「政令都市“北九州市”からのメッセージ」
北九州市長 末吉興一
提言: 「多極型政令都市をめざして」
座談会: 「政令都市に向けたアプローチ」
座長:北大路信郷(静岡県立大学教授)
北脇保之(浜松市長)、鈴木 望(磐田市長)
出口 隆(北九州都市協会会長)
松浦正敬(自治省大臣官房審議官)

◆第9回同友会経済サミット 平成13年2月14日

テーマ: 「世界から選ばれる都市づくり」～浜松～
基調講演: 「21世紀!新しい浜松のまちづくり」建築家 長谷川逸子
提言: 「世界から選ばれる都市づくり」
座談会: 「世界から選ばれる都市づくりの実現のために」
座長:上野征洋(静岡文化芸術大学教授)
北脇保之(浜松市長)
内田幸博、大岡敏孝、鈴木 恵
柳川樹一郎(以上浜松市議会議員)

◆第10回同友会経済サミット 平成14年2月14日

テーマ: 「21世紀西遠地域のさらなる飛躍!」～その条件と課題～
基調講演: 「産業都市浜松地域の未来展望」
国際日本文化研究センター教授 川勝平太
提言: 「浜名湖市計画の策定」
座談会: 「西遠地域のさらなる飛躍!～その条件と課題～」
座長:南 学(静岡文化芸術大学助教授)
北脇保之(浜松市長)、山本昌寛(湖西市長)
長谷川正榮(浜北市長)、伊東真英(細江町長)
小椋義明(静岡大学教授)、大澤 稔(当会 副代表幹事)

◆第11回同友会経済サミット 平成15年2月13日

テーマ: 「なぜ今合併・政令都市を目指すのか」～浜名湖市構想発表～
提言: 「政令都市・浜名湖市構想発表」
座談会: 「なぜ今合併・政令都市を目指すのか」
座長:小椋義明(静岡大学教授)
北脇保之(浜松市長)、長谷川正榮(浜北市長)
中谷良作(天竜市長)、山本昌寛(湖西市長)
鈴木浩太郎(三ヶ日町長)
川勝平太(国際日本文化研究センター教授)

◆第12回同友会経済サミット 平成17年3月29日

テーマ: 「政令市 新・浜松に向けた都市運営」
基調講演: 「政令市 新・浜松への期待と今後の課題」
国際日本文化研究センター教授 川勝平太
提言: 「政令市 新・浜松への提言」
座談会: 「新しい浜松は如何にあるべきか」
座長:小椋義明(静岡大学教授)
小原侃之輔(佐久間町長)
三橋勝彦(国土交通省浜松河川国道事務所長)
中山正邦(浜松商工会議所会頭)
川勝平太(国際日本文化研究センター教授)

◆第13回同友会経済サミット 平成18年3月28日

記念講演: 「行財政改革と地方分権の推進」
(社)経済同友会代表幹事 北城 恪太郎
提言の歩み: 政策委員長 須山泰造

◆第14回同友会経済サミット 平成19年2月27日

テーマ: 政令都市「浜松」への期待と課題
基調講演: 創造都市「浜松」への挑戦 大阪市立大学教授 佐々木雅幸
提言: 政令都市「浜松」への提言
座談会: 政令都市「浜松」への期待と課題
(座長)政策委員長:岸田 勝彦(ヤマハ 会長)
晝馬日出男(浜松ホトニクス 常務取締役)
御室健一郎(浜松信用金庫 理事長)
石原 実(スーパーいしはら 社長)
山本 敏博(聖隷福祉事業団 理事長)
前嶋 文明(ソフトプレイン工業 社長)
大澤 稔(賛同人建築研究所 社長)
アドバイザー:佐々木雅幸(大阪市立大学 教授)

◆第15回同友会経済サミット 平成20年3月31日

テーマ: 成長・醸成する『100万都市・浜松』をめざして
基調講演: 日本のなかの浜松・世界のなかの浜松
静岡文化芸術大学学長 川勝 平太
座談会: 100万都市・浜松に向けての課題と展望
(座長)政策委員長・秋山 雅弘 (アルモニコス 社長)
山本 孝美 (白笑亭 社長)、晝馬日出男 (浜松ホトニクス 取締役)
岸田 勝彦 (ヤマハ 特別顧問)、御室健一郎 (浜松信用金庫 理事長)
鈴木 康友 (浜松市 市長)
アドバイザー:川勝 平太 (静岡文化芸術大学 学長)

◆第16回同友会経済サミット 平成21年3月25日

テーマ: デジタル・ネットワーク先進都市『浜松』を目指して
基調講演: シリコンバレーに見るデジタル先進都市事例
ヤマザキテクノロジーコーポレーション CEO 山崎 敦史
提言: デジタル・ネットワーク先進都市『浜松』を目指して
座談会: (座長)政策副委員長・神谷 竹彦 (サカエ社長)
鈴木 康友 (浜松市 市長)、西川 浩司 (エヌアイシ・オートテック 社長)
松本 好司 (浜松ソフト産業協会代表幹事)
晝馬日出男 (浜松ホトニクス 取締役)
アドバイザー:山崎 敦史 (ヤマザキテクノロジーコーポレーション CEO)

◆第17回同友会経済サミット 平成22年3月25日

テーマ: なぜ今 デジタル・ネットワーク先進都市をめざすのか?
—デジタル・ネットワーク先進都市「浜松」構想発表—
基調講演: ネット時代とまちづくりの未来
東京大学大学院情報学環教授 吉見 俊哉
提言: デジタル・ネットワーク先進都市「浜松」構想発表
政策委員長(浜松ホトニクス顧問) 晝馬日出男
座談会: (座長)政策副委員長・前嶋 文明 (ソフトブレイン工業 社長)
鈴木 康友 (浜松市 市長)
政策委員長:晝馬日出男 (浜松ホトニクス(株) 顧問)
野澤 浩樹 ((株)シーポイント 社長)
石井 義勝 (浜松まちなか事業者委員会 会長)
河原林桂一郎 (静岡文化芸術大学デザイン学部長)

◆第18回同友会経済サミット 平成23年3月24日

テーマ: デジタル・ネットワーク先進都市「浜松」それはアートリンクから始まる!
—浜松発展のシナリオ「アートリンク構想」とは—
基調講演: 魅力ある浜松の都市のデザインとは?
静岡文化芸術大学副学長 河原林 桂一郎
提言: 「浜松アートリンク構想」発表
政策委員長 ソフトブレイン工業(株) 社長 前嶋 文明
座談会: (座長)政策委員長・前嶋 文明 (ソフトブレイン工業(株) 社長)
鈴木 康友 (浜松市 市長)、斉藤 行雄 (谷島屋 社長)
晝馬日出男 (浜松フィルハーモニー管弦楽団 理事長)
秋山 雅弘 ((株)アルモニコス 社長)
寒竹 伸一 (静岡文化芸術大学大学院教授)

◆第19回同友会経済サミット 平成24年3月21日

テーマ: 安全・安心を実感し発展する街づくり
基調講演: 100万人の復興プロジェクト～仙台市震災復興計画～
仙台市震災復興本部長 山田 文雄
提言: 「安全・安心を実感し発展する街づくり」発表
政策委員長 村山 孝司
座談会: (座長)政策委員長・村山 孝司 (ローム浜松aa 社長)
鈴木 康友 (浜松市 市長)
晝馬日出男 (浜松フィルハーモニー管弦楽団協会 理事長)
中村 嘉宏 ((株)中村組 社長)、野澤 浩樹 ((株)シーポイント 社長)
山田 文雄 (仙台市震災復興本部長)

◆第20回同友会経済サミット 平成25年3月26日

テーマ: 浜松流 文化力の発展と新たな産業の創造
～元気みなぎる街づくり～
基調講演: 高松丸亀町商店街復活への取り組みと今後
高松丸亀町商店街振興組合 理事長 古川 康造
提言: 「浜松流 文化力の発掘と新たな産業の創造」発表
政策委員長 中村 嘉宏 ((株)中村組 社長)
座談会: (座長)政策委員長・中村 嘉宏
鈴木 康友 (浜松市 市長)、村山 孝司 (ローム浜松 社長)
寒竹 伸一 (静岡文化芸術大学院 教授)
高山 靖子 (静岡文化芸術大学 准教授)
古川 康造 (高松丸亀町商店街振興組合 理事長)

◆第21回同友会経済サミット 平成27年2月5日

テーマ: 岐路に立つ政令都市「浜松」
～10年の歩みとこれからの街づくり～
基調講演: 「地方創造と浜松の未来」
早稲田大学政治経済学術院教授 北川 正恭
問題提起: 「政令都市「浜松」の抱える課題と展望」
政策委員長 竹内 精一 (山竹猪産業aa 社長)
座談会: 「将来を見据えた政令都市「浜松」の街づくり」
(座長)北川 正恭 (早稲田大学政治経済学術院教授・元三重県知事)
鈴木 康友 (浜松市長)、田辺 信宏 (静岡市長)
小倉 篤 (浜松市議会議員)
田中 啓 (静岡文化芸術大学文化政策学部長)
小杉 昌弘 (代表幹事 (やまと興業社長))

◆第22回同友会経済サミット 平成28年3月29日

テーマ: 浜松地域が求めるグローバル人材とは?
～海外・国内から人材が集まるための産学官の連携～
問題提起: 「浜松地域が求めるグローバル人材とは?」
政策委員長 松本 好司 (天方産業aa 社長)
座談会: 「グローバル人材確保と今後の展望」
(座長)村山 孝司 (ローム浜松・元社長)
鈴木 康友 (浜松市長)
伊東 幸宏 (静岡大学・学長)
渭原 利之 (イハラ製作所・社長)
野澤 浩樹 (シーポイント・社長)
山村 茂之 (スズキaa・常務役員管理本部長)
特別講演: 「世界をめざす人材育成」～産・学・官の役割～
静岡県知事 川勝 平太

◆第23回同友会経済サミット 平成29年3月16日

テーマ: 「起業のまち浜松 再び!」を目指して
記念講演: 「地域における創業・起業支援について」
コマツ・取締役会長 野路 國夫
問題提起: 「起業のまち浜松 再び!」を目指して
政策委員長 須山 宏造 (須山建設(株) 社長)
座談会: 「起業のまち浜松 再び!」を目指して
(座長)野澤 浩樹 (シーポイント・社長)
鈴木 康友 (浜松市長)
三村 秀典 (静岡大学電子工学研究所・所長)
南 壮一郎 (ピズリーチ・社長)
渡邊 一博 (こころ・社長)
池田 貴裕 (パیفोटニクス・社長)

◆第24回同友会経済サミット 平成30年3月15日

テーマ: 「グローバル人材が活躍するまち浜松」を目指して
基調講演: 「グローバル化社会で如何に生きるか」
元インドネシア共和国特命全權大使 塩尻 孝二郎
問題提起: 「グローバル人材が活躍できるまち浜松」の環境づくり
政策委員長 野澤 浩樹 ((株)シーポイント 社長)
座談会: 「グローバル人材が活躍できるまち浜松」の環境づくり
(座長)村山 孝司 (ローム浜松・元社長)
鈴木 康友 (浜松市長)
白井 靖人 (静岡大学 国際連携推進機構 副機構長)
宮城ユキミ (鈴木通関 (静岡文化芸術大学卒))
牛尾 浩 (P.T.カワイインドネシア・社長)
石川 雅洋 ((株)ソミック石川・社長)
アドバイザー: 塩尻孝二郎(元インドネシア共和国特命全權大使)

◆第25回同友会経済サミット 平成31年3月11日

テーマ: 世界のグローバル人材から選ばれるまち
「HAMAMATSU-浜松」を目指して
特別講演: 「戦略的な外国人材受入れに向けて何をすべきか」
経済同友会副代表幹事 労働市場改革委員会委員長
ヤマトホールディングス取締役会長 木川 眞
問題提起: 「グローバル人材の受け入れと課題(教育・就労)」
政策副委員長 ソミック石川・社長 石川 雅洋
座談会: 「どうしたら浜松にグローバル人材が集まるか?」
(座長)政策委員長・野澤 浩樹 ((株)シーポイント・社長)
鈴木 康友 (浜松市長)
寺田良太郎 (オイスカ高校 理事長・校長)
内山 夕輝 (公財) 浜松国際交流協会)
國本 幸孝 (国本工業(株)・社長)
間淵 義孝 (三栄ハイテックス(株)・社長)
石川 雅洋 ((株)ソミック石川・社長)

第26回 同友会経済サミット

提 言 書

第26回 同友会経済サミット

提 言 書

高度なグローバル人材の雇用とその環境 ～ e コモンズ 構想の実現に向けて～

2020年3月26日

浜 松 経 済 同 友 会
政策委員長 石 川 雅 洋

1

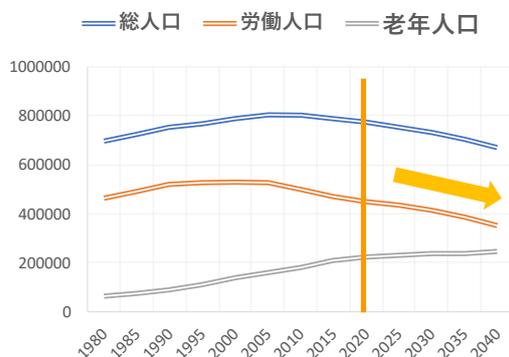
次 第

- I 背景と狙い
- II 「e コモンズ構想」の概要
- III 活動の進め方
- IV 高度外国人材雇用就労促進研究会
- V 活 動 A) 人材・企業マッチング W/G
B) 外国人材サポート W/G
C) 浜松情報発信 W/G
- VI 提 言

2

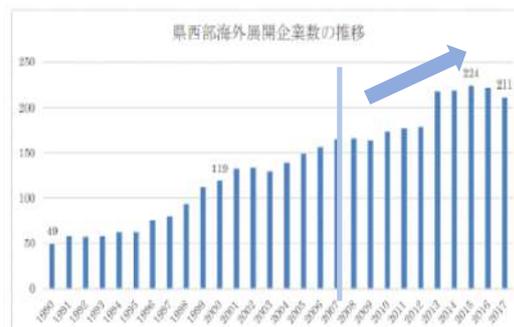
I 背景と狙い

1) 浜松市の人口推移



- ・労働人口の減少
→ 今後10年間で約10%ずつ減少

2) 浜松企業の海外進出



- ・企業の海外進出の増加
→ 過去10年間でアジアを中心に約1.5倍

- ・労働人口の減少
- ・経済、産業のグローバル化

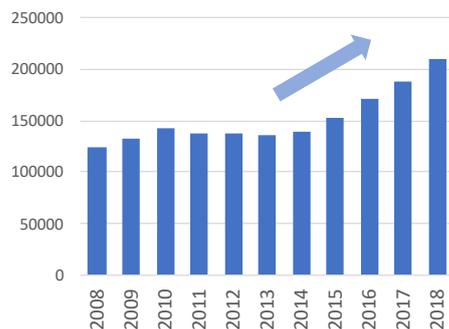
「グローバル人材の重要性」

3

I 背景と狙い

1) 日本への留学生推移

(高等教育機関)



- ・外国人留学生が増加
→ 10年間で約1.8倍に増加

2) 静岡県への留学生推移

(高等教育機関)



- ・外国人留学生が減少
- ・県内に就職するのは約15%

- ・静岡県、浜松市の知名度が低い
 - ・留学生の県内就職率が低い
- グローバル化が進んでいく中で
「高度なグローバル人材の雇用」

4

I 背景と狙い

【目的】 「グローバル人材と**共生・共栄**できる関係を構築し、
浜松の産業をより一層**活性化**させる」

【狙い】 ・グローバル人材から**選ばれる街**、HAMAMATSU
・グローバル人材が**活躍できる街**、HAMAMATSU



【テーマ】 “高度なグローバル人材の雇用とその環境”
「グローバル人材と浜松の企業との**マッチング**」

浜松経済同友会「高度外国人材就労・雇用研究会」発足

<参加メンバー>

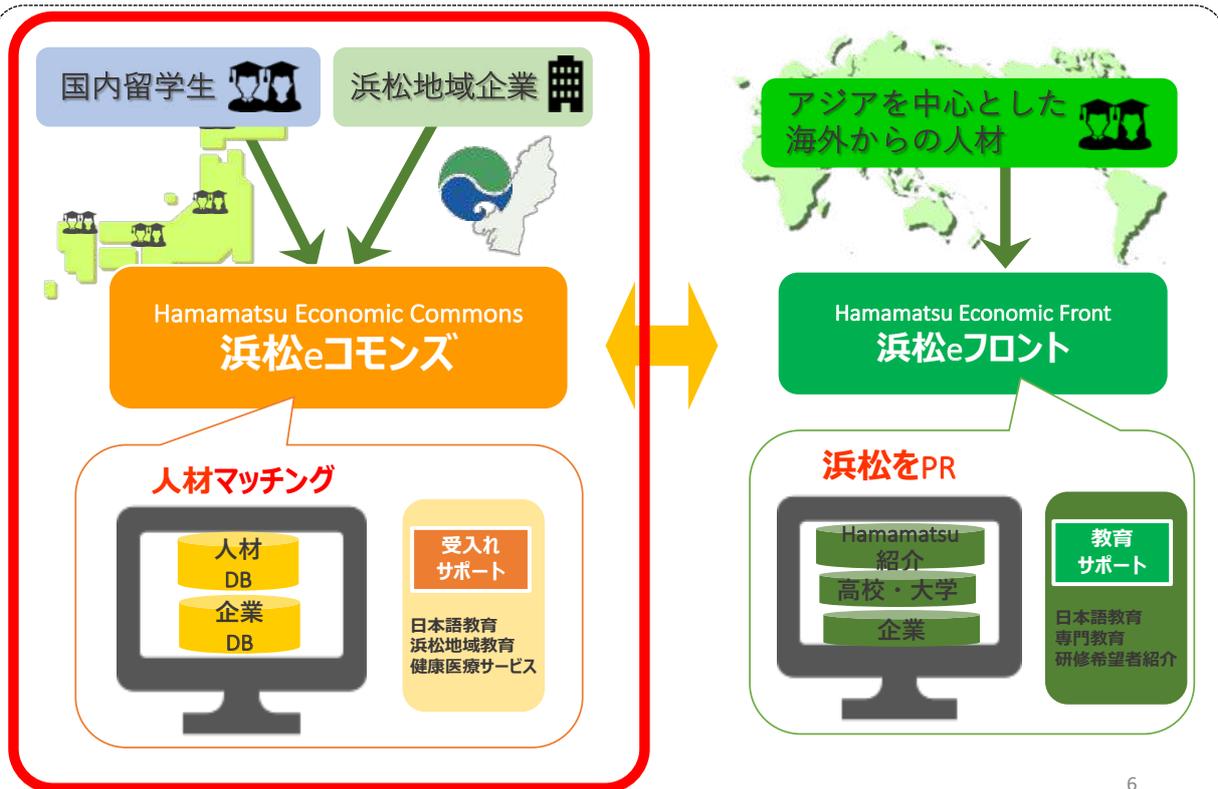
- ・浜松経済同友会、浜松商工会議所 …… **産**
- ・静岡大学、静岡文芸大、オイスカ高校 …… **学**
- ・浜松市行政、HICE、U-toc …… **官**
- ・コミュニティ、ボランティア 他



産学官 協同
“eコモンズ”

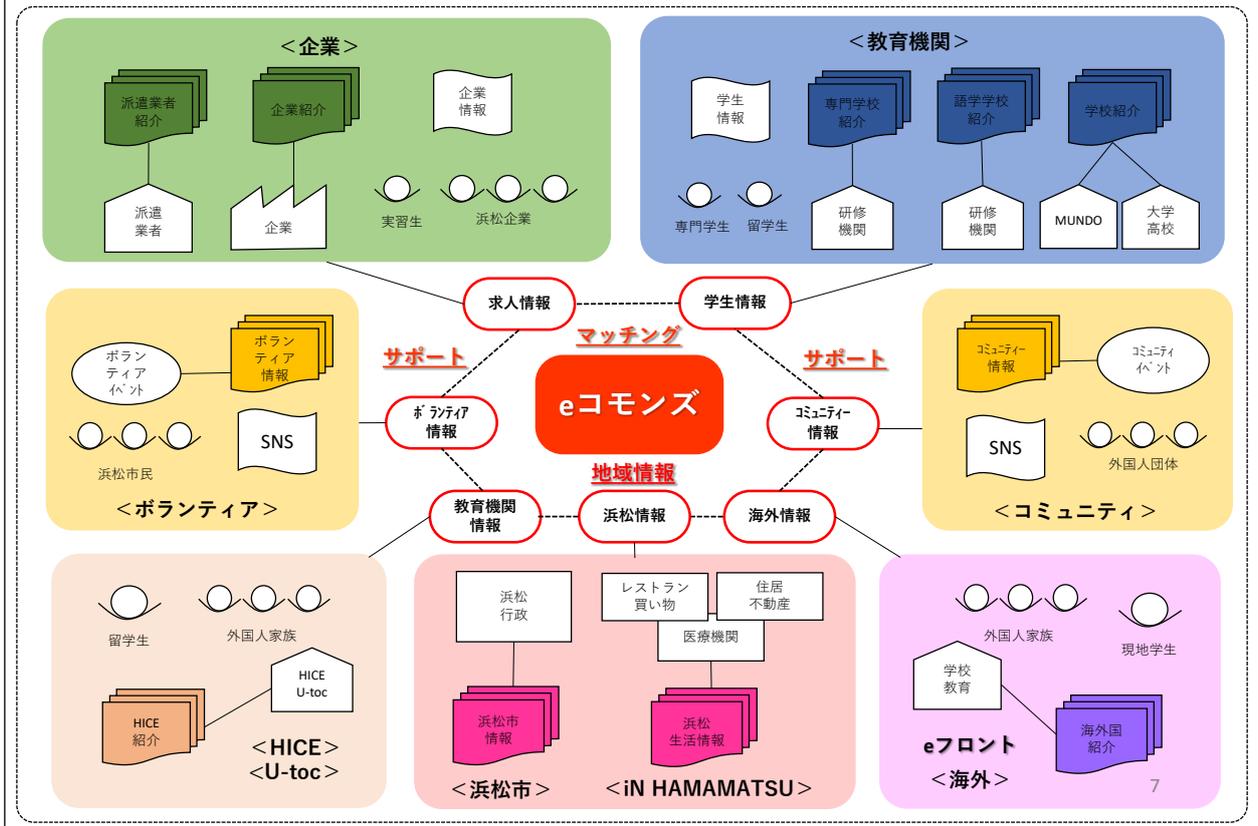
5

II eコモンズ構想の概要



6

Ⅲ 活動の進め方 ～eコモンズに関連する情報～



Ⅲ 活動の進め方

<eコモンズ構想の実現に向けて>

活躍できる街 HAMAMATSU	A	人材・企業 マッチング		グローバル人材の 新規雇用促進
	B	外国人材 サポート		グローバル人材の 就職時のサポート
選ばれる街 HAMAMATSU	C	浜松 情報発信		グローバル人材へ ・浜松をアピール ・有益な情報を提供

“浜松の強みを活かす”



浜松モデル
“eコモンズ”

IV 高度外国人材雇用・就労促進研究会

<研究会活動実績>
 発足総会：令和元年9月9日(月)
 第1回 10月15日(月)
 第2回 11月11日(月)
 第3回 12月9日(月) 中間発表
 第4回 1月14日(火)
 第5回 2月11日(火) 最終発表

会長：齊藤 薫 (代表幹事)
 副会長：加藤 正明 (副代表幹事)
 守田 泰男 (〃)
 委員長：石川 雅洋 (政策委員長)
 副) 田村 元 (政策副委員長)
 江口英和 (〃)

(オブザーバー)
 池上 重弘 静岡文化芸術大学副学長
 前嶋 康寿 静岡県経済産業部
 佐藤 宏明 浜松市企画調整部国際課
 佐藤 洋一 浜松国際交流協会
 湯口 哲世 浜松商工会議所
 西村 功 浜北機械金属工業協同組合

政策諮問委員会
 晝馬日出男 前嶋文明 村山孝司 中村嘉宏
 中野勘次郎 竹内精一 松本好司 須山宏造
 野沢浩樹

A 人材・企業マッチングW/G

座長：石川 雅洋

(アドバイザー)
 寺田良太郎 (中野学園理事長)
 藤巻 義博 (静岡大学特任教授)
 高橋 清二 (シボ イトネクスト)

(経済同友会 委員)
 伊藤 友輔
 稲垣 智康
 内田 浩幸
 古塚 孝志

B 外国人材サポートW/G

座長：田村 元

(アドバイザー)
 内山 夕輝 (U-toc)
 宮城ユキミ (COLORS)
 野末友貴子 (polybotics)
 原田 博子 (びっぴ理事長)
 滝浪 實 (浜松医師会会長)

(経済同友会 委員)
 鈴木雅太郎
 杉本 泰宣
 渡部 克明

C 浜松情報発信 W/G

座長：江口 英和

(アドバイザー)
 三井いくみ (iN HAMAMATSU)
 水嶋 敏成 (遠州信用金庫)
 清野 訓子 (浜松市産業部)

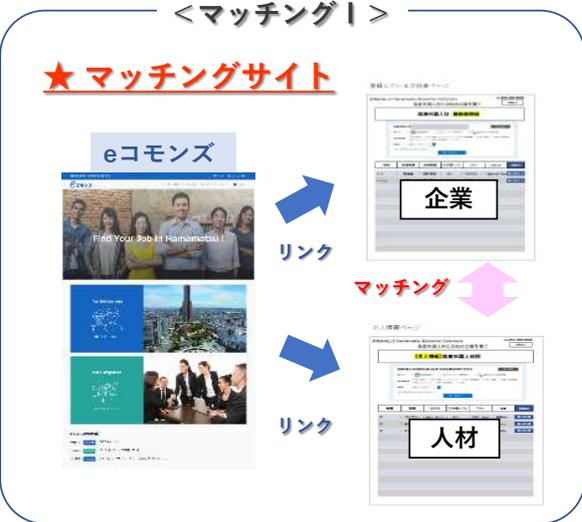
(経済同友会 委員)
 森川 厚孝
 鳥居 大資
 中村 仁志
 晝馬 明

V 活動 A) 人材・企業マッチング W/G

1、目的 「浜松の企業とグローバル人材を結ぶ」

- ・ 企業：企業が必要とする人材の情報
 - ・ 人材：人材が持つスキルの情報
- マッピング

2、マッチング方法 「システムとともに、お互いに知り合う場をつくる」



- <マッチングII>
- ★ 知り合う場
- ① 企業と大学との交流
 - ・ 大学訪問
 - ・ 企業訪問
 - ② インターンシップ研修
 - ・ 受け入れ
 - ・ 業務説明

V 活動 A) 人材・企業マッチング W/G

<マッチングI> ★ マッチングサイト



V 活動 A) 人材・企業マッチング W/G

<提言> ★ 浜松ならではのマッチングサイト

<ポイント> “浜松の強み”を活かす

★ 浜松の企業数・種類の多さ

企業数 25,000社

- ・浜松経済同友会
- ・浜松商工会議所 との連携

★ できるだけ具体的な情報の交換

<企業>

- ・必要とするスキル、資格
- ・キャリアプランの提示
- ・福利厚生などの条件

<人材>

- ・自らが持つスキル、資格
- ・希望するキャリアプランの提示

<ポイント>

★ サポート情報

- ・浜松行政
- ・語学教育
- ・医療
- ・銀行 など

リンク

<ポイント>

★ 浜松情報

- ・観光
- ・イベント
- ・買い物 など

V 活動 A) 人材・企業マッチング W/G

<マッチングII> ★知り合う場

① 企業と大学との交流 (大学講座への参画 & 企業への訪問)

グローバル ビジネス スタディ 講座



会社概要説明



グループワーク

企業訪問



会社見学



工場見学

産学が連携し、お互いに知り合う場をつくる

13

V 活動 A) 人材・企業マッチング W/G

<マッチングII> ★知り合う場

② インターンシップ研修



インターンシップ募集



インターンシップ
・受入れ (異文化教育)



インターンシップ
・業務説明、体験

日本の企業風土を体感してもらい、お互いに知り合う場をつくる

14

V 活動 A) 人材・企業マッチング W/G

<提言> **★知り合う場**

「情報だけではなく、実際に知り合う場を増やす」

★企業と大学との交流

- 1、企業が大学を訪問する場
 - ・グローバルビジネススタディ講座
- 2、学生が企業を訪問する場
 - ・浜松の企業訪問ツアー



浜松の中で定期的な交流の場をつくる

★インターンシップ制度

- 1、複数のインターンシップ制度
 - ・ 1 Day : 企業紹介 インターン
 - ・ 2 Week : 職場体験 インターン
 - ・ 3 Month : 有償 インターン
- <ABP> <特定活動支援PF>



インターンシップ制度を充実させる

産学が連携し、“知り合う場作り”を仕組みに落とす

15

V 活動 B) 外国人材サポート W/G

1、目的 「グローバル人材へのサポートを提供する」

- ・ グローバル人材の困り事を知る (日常生活、語学、地域、仕事 など)
- ・ グローバル人材へのサポートを検討する

2、サポート方法 「“浜松の強み”を活かしたサポートを考える」



<進め方>

- ① アンケートによる困り事調査
- ② 現状視察
- ③ サポート体制の提言

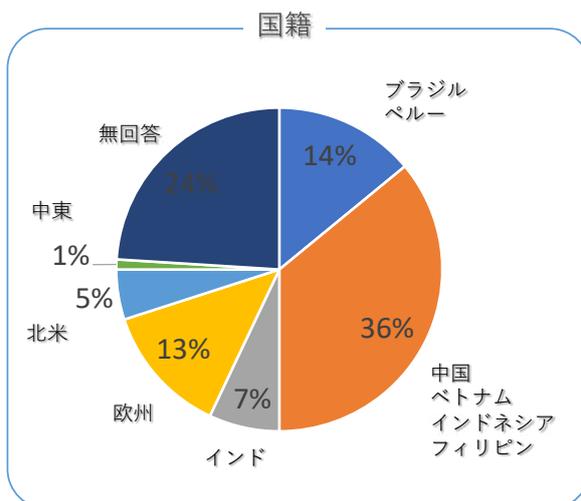
16

V 活動 B) 外国人材サポート W/G

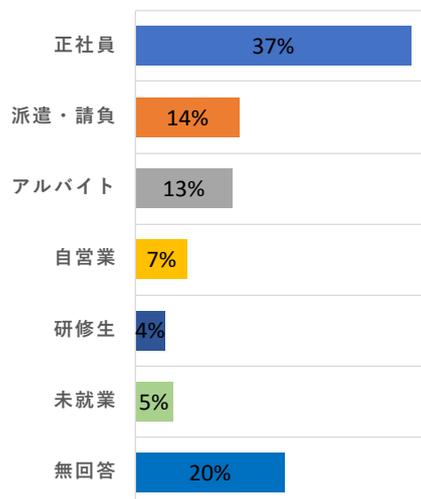
<アンケートからみる外国人材の困り事とは>

1、回答者属性

・浜松市近辺就業 外国人 計110名
(20~40才代 70%)



就業形態



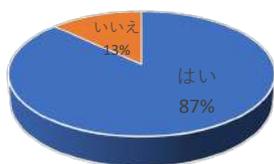
17

V 活動 B) 外国人材サポート W/G

<アンケートからみる外国人材の困り事とは>

2、回答内容

◆浜松での生活に満足していますか？



満足 : 治安の良さ、気候の良さ、人の優しさ、ロケーション
満足して: 仕事が見つけない、観光・イベントが少ない
いない 物価が高い、買物をする場所が少ない

◆困りごとは何ですか？

日常生活

- ・保険や税金の仕組み
- ・日本の文化、風習
- ・日本語が難しい
- ・相談する窓口がない

地域

- ・交流が取れない
- ・交流する機会が少ない
- ・外国籍で住居が借りられない
- ・育児情報がない

仕事

- ・日本独特の風習
- ・日本語が難しい
- ・仕事の評価が曖昧
- ・英語が通じない

18

V 活動 B) 外国人材サポート W/G

<アンケートからみる外国人材の困り事とは>

3、まとめ

◆外国人市民が困っている事をまとめると・・・

- 1、日本語の問題もあり、人とのコミュニケーションが取れない
- 2、日本の文化、風習の理解、相互の理解が浅いことが問題となる
- 3、情報を得る窓口がわからず、知りたい情報が得られない

～お互いに歩み寄ることが必要～

- 1、日本語や日本の文化・風習を知る場
- 2、情報を得る窓口

19

V 活動 B) 外国人材サポート W/G

<現状> ★浜松の外国人材へのサポート例



HICE
(浜松国際交流協会)

- ・語学教育
- ・外国人相談窓口
- ・書類申請サポート
- ・イベント など



U-toc
(浜松市学習支援センター)

- ・日本語教育 (家族)
- ・企業地域学習支援
- ・異文化体験スクール



**オイスカ開発
教育専門学校**

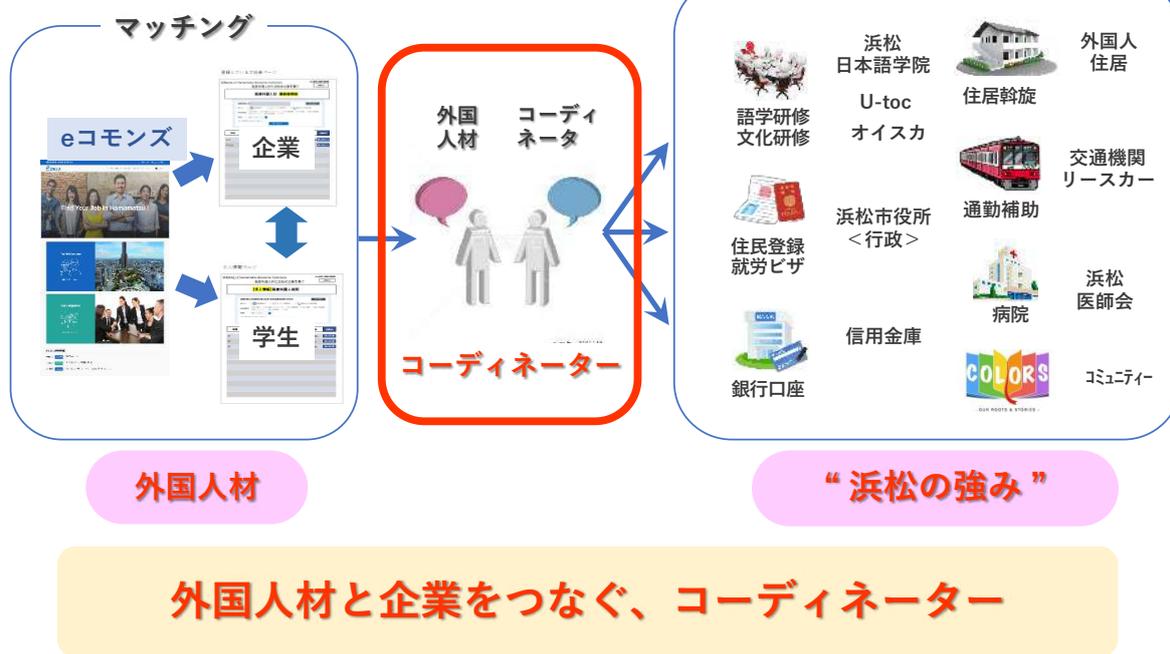
- ・日本語教育 (実習生)
- ・日本文化教育
- ・専門教育

“浜松の強み”を連携させることが必要

20

V 活動 B) 外国人材サポート W/G

<提言> ★コーディネーターの設置



21

V 活動 c) 浜松情報発信 W/G

1、目的 「浜松の良さを知ってもらう」

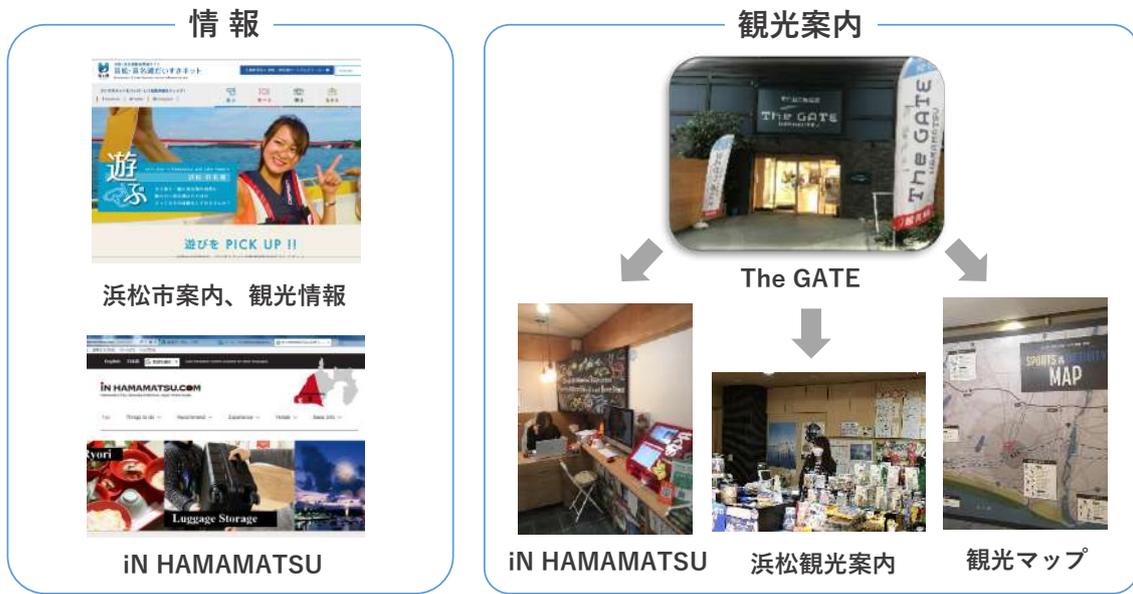
- ・浜松市の情報、生活情報
- ・観光情報、自然（海、川、山など）、イベント情報

2、マッチング方法 「情報型から体験型へ」 “浜松の良さ”を体感する



22

<現状> 浜松からの情報発信



情報に加え、人のつながりをつくる場が重要

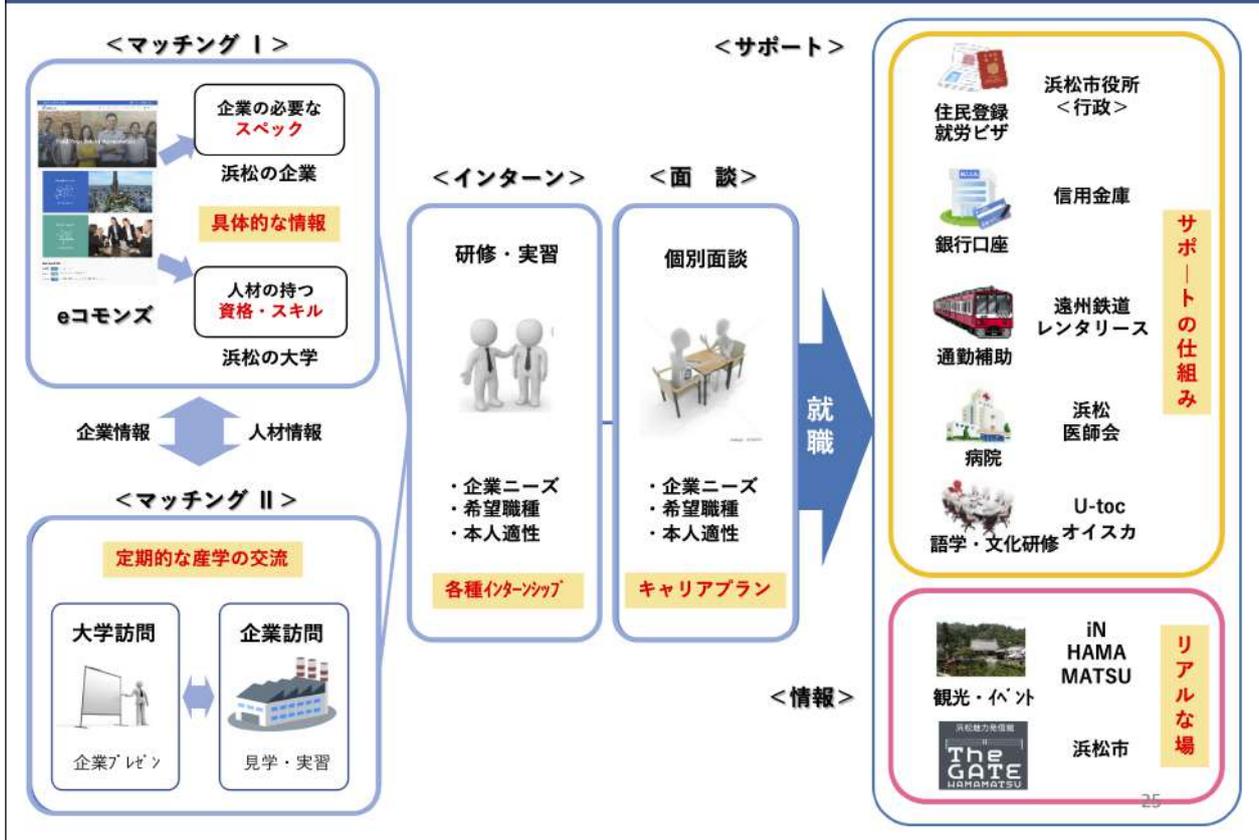
<提言> ★情報発信+人のつながりをつくる場 (The GATE II)



民間主導の “多目的なコミュニティースペース”

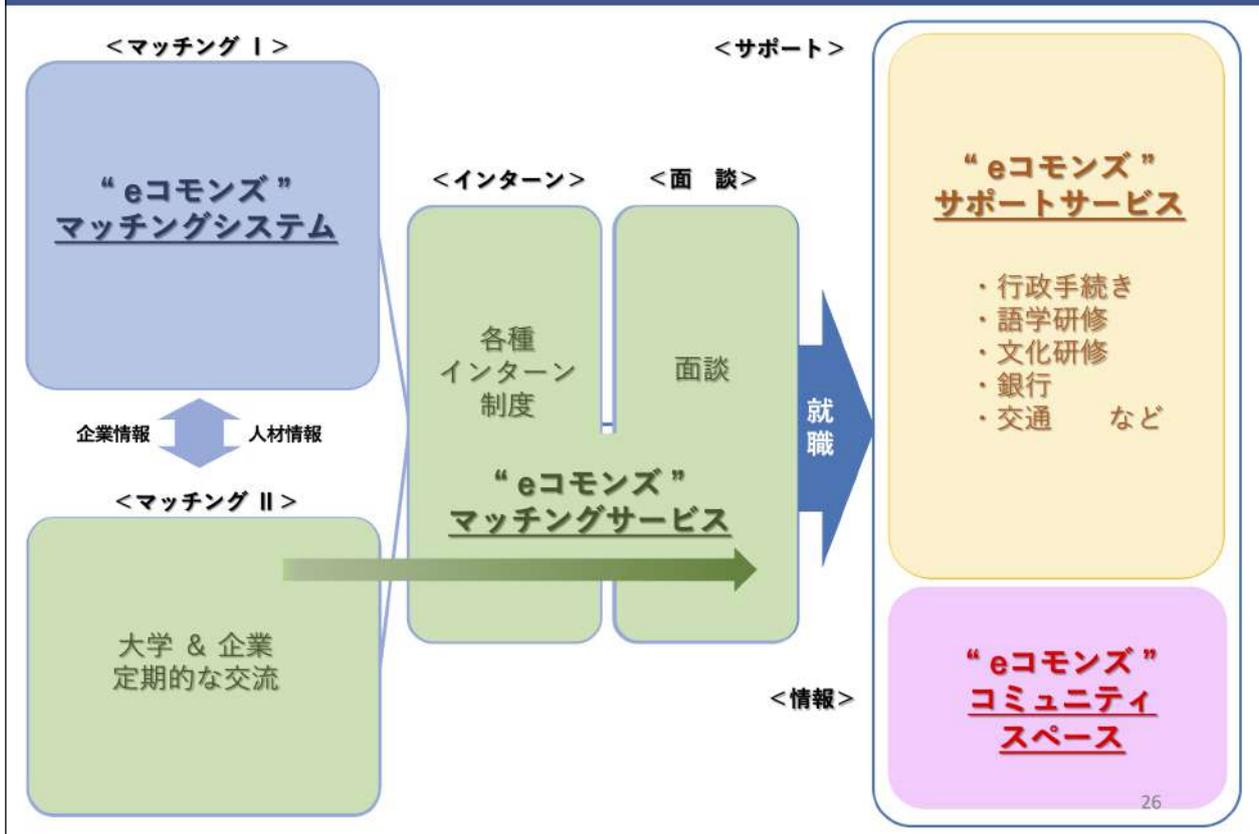
V 活動

～eコモンズ全体の流れ～



V 活動

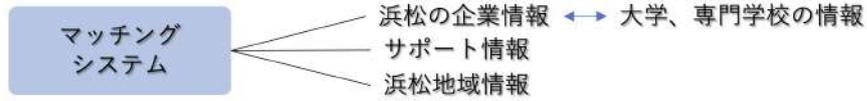
～eコモンズ全体の流れ～



VI 提言

提言Ⅰ、採用までのマッチングシステム

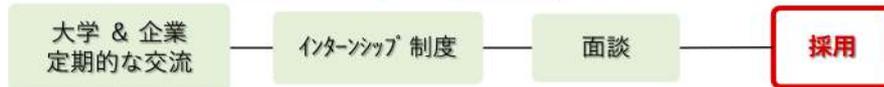
事業化



※ 企業、大学とが連携し、eコモンズへ登録 → 会員制

提言Ⅱ、採用までのマッチングサービス

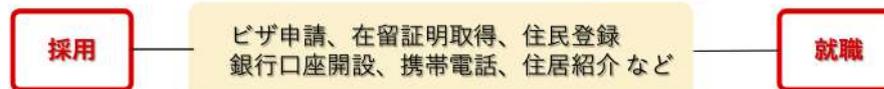
事業化



※ インターン、採用に関わる調整、フォローを実施 → 成功報酬

提言Ⅲ、採用から就職以降までのサポートサービス

事業化



※ 相談窓口を代行して行う → 基本プラン+オプション制度

提言Ⅳ、コミュニティスペースの設立

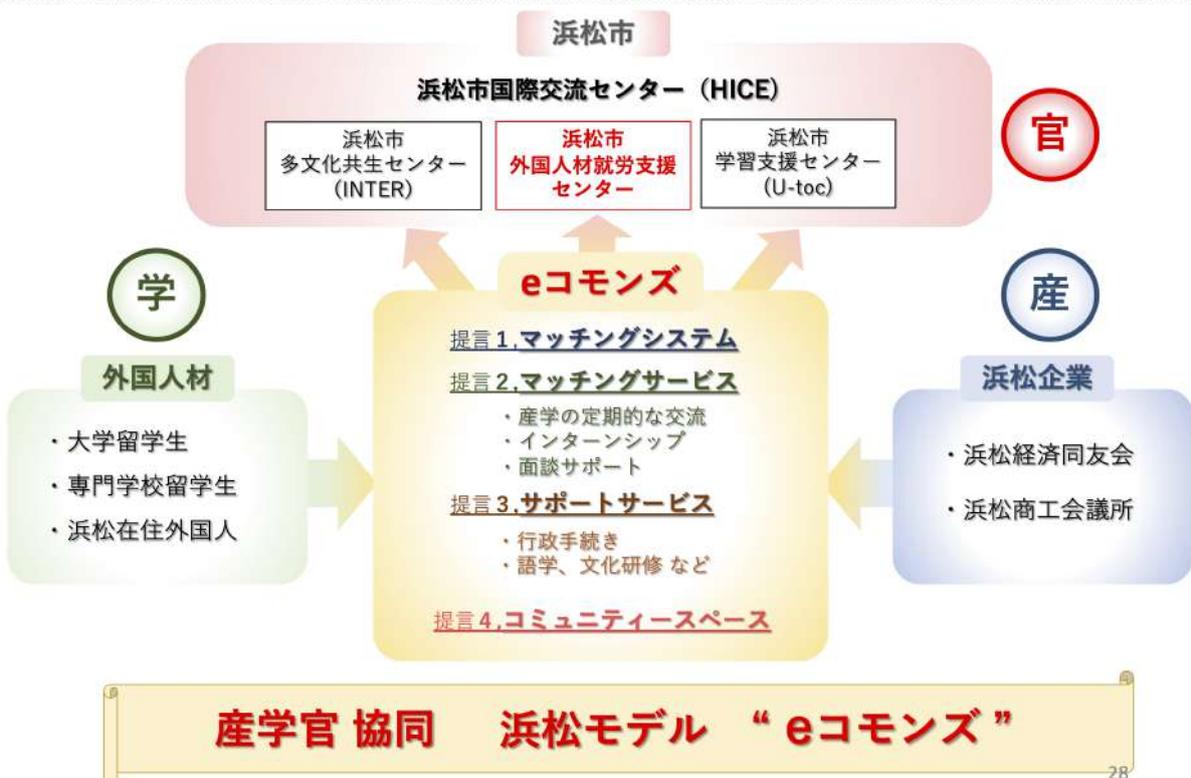
人をつなぐ
リアルな場づくり

- 3F 語学教育、企業紹介
- 2F 生活サポート、相談窓口
- 1F 観光案内所、憩いの場、イベント

※ 行政による場の提供
民間による運営

27

V 提言



1) 多文化共生を通じ、浜松の産業を活性化させる

・産学官 協同で、**浜松モデル「eコモンズ」**をつくる

- ① 浜松に、高度なグローバル人材を定着させる
- ② 浜松に、新しい事業を生み出す

“浜松の強み”
を活かす

2) eコモンズとは

(commons : 誰でも共有できる場)

e { **Electronic** (システム)
economy (経済) 人のつながりを
emotion (感情) 大切にする

“浜松らしさ”
=人の優しさ

3) 企業の覚悟、経営者の覚悟

・グローバル人材の雇用は、決して簡単ではないが
企業が生き残るためには、避けては通れない道である

“浜松の活性化”

29

ご清聴 ありがとうございます。

浜松経済同友会
第26回 同友会経済サミット

30

高度外国人材雇用・就労促進研究会
外国人サポート WG アンケート調査より

誰もが住みやすいまち 浜松を目指して

(アンケート調査ハイライト)

本アンケート調査ハイライトは調査結果の一部です。
全調査結果は、浜松経済同友会ホームページよりダウンロードできます。

誰もが住みやすいまち浜松を目指して

アンケート調査ハイライト

アンケート調査実施

浜松経済同友会

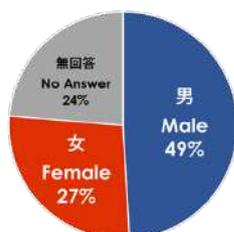
浜松地域高度外国人雇用就労促進研究会外国人材サポートWG

調査協力: **polybotics**

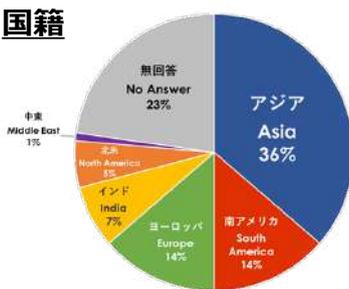


回答者属性

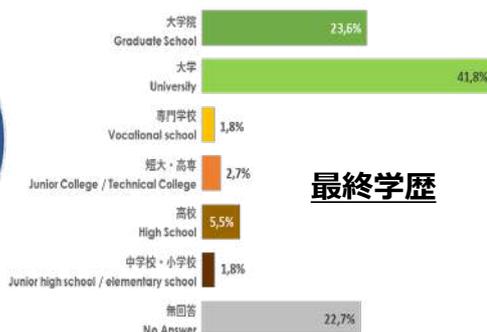
性別



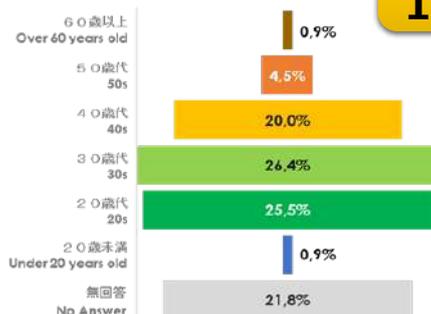
国籍



最終学歴

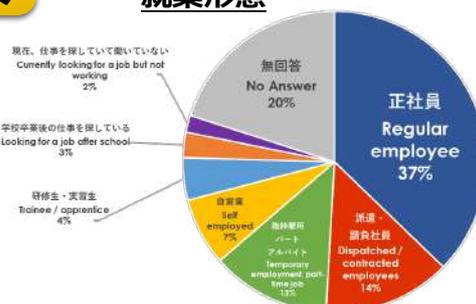


年代



有効回答数
110人

就業形態



浜松での日常生活・育児・住まい

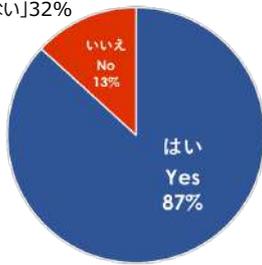
浜松での日常生活に満足していますか

満足していない☹️

- 「美術館・博物館・工場見学が少ない」32%
- 「観光アクティビティが少ない」31%
- 「イベントが少ない」26%
- 「買い物する店が少ない」22%
- 「仕事が見つけにくい」22%

満足😊

- 「治安が良い」81%
- 「自然や公園が」77%
- 「人がやさしい」74%
- 「食べ物がおいしい」68%
- 「気候が合っている」67%
- 「浜松が日本の中間地点というロケーションの良さ」67%



浜松での生活で困っていること

TOP5

- 「保険や税金のしくみがわからない」62%
- 「文化や習慣がわからず人との付き合い方がわからない」57%
- 「相談する窓口がどこかわからない」53%
- 「日本語が理解できずコミュニケーションがとれない」48%
- 「一緒に出掛ける友人がいない」42%

浜松での住まい探しで困ったこと

TOP5

- 「外国籍という理由で家やアパートを借りられない」42%
- 「外国人対応の不動産屋をみつけられない」40%
- 「家賃が高くて自分の希望する物件が借りられない」39%
- 「契約書が日本語でわからない」38%
- 「住まいを探すための地域情報がわからない」36%

育児で困ったこと (全体の回答者の32.7%が該当)

TOP5

- 「育児情報をどこで探せばよいかわからない」44%
- 「学校との関わり方がわからない」44%
- 「ベビーシッターを利用したいが探し方がわからない」42%
- 「学校への入り方や手続き方法がわからない」39%
- 「保育園や幼稚園がいつまで入れない」36%



参考 大手不動産情報サイトキーワード検索：外国人向け賃貸物件
2020年2月1日付

市	外国人市民	約	件数	※キーワードなし賃貸物件総数
浜松市	外国人市民	約2.5万人	22件	3973件
静岡市	"	約1万人	92件	3591件
千葉市	"	約2.5万人	501件	2819件
さいたま市	"	約2.5万人	462件	3278件

地域の人とのコミュニケーション

地域の人とどんな交流がありますか

- 「挨拶程度の付き合い」75%
- 「一緒に出掛ける」68%
- 「イベントや祭りに参加する」62%
- 「母国の文化を教える活動をしている」35%
- 「子供の学校活動に参加する」33%
- 「浜松地域のコミュニティに参加している」33%

地域の人と交流する機会が少ない人の交流しない理由

- 1番「交流したいがどうしてよいかわからないから」
 - 2番「交流する機会がないから」
- 交流したいという気持ちはあるが、その方法がわからないことが理由

地域の人と交流する機会が多い人の交流しない場合の理由

- 1番「相手があまり交流したらないから」
 - 2番「文化や習慣の違いを理解してもらえないから」
- 交流したいという気持ちはあるが、相互理解が出来ていないことが理由

地域の人と交流しない理由は？

	地域の人と交流する機会 Interaction Level		
	少ない Low	普通 Average	多い High
相手があまり交流したらないから People around me don't seem to want to interact	3	1	1
交流したいがどうしてよいかわからないから I want to interact but don't know what to do	1	5	3
交流する機会がないから I don't have any opportunity to interact	2	6	4
自分が交流しようと思わないから I am not really looking for interaction	5	2	5
言葉が通じないから I can't understand the language	4	3	6
文化や習慣の違いを理解してもらえないから I feel people around me don't understand the cultural difference	6	4	2
引っ越してきたばかりだから I just moved in	7	7	7
その他... Other...	8	8	8

- ・日本人と友達になる場所や機会がほしい
- ・出身地のコミュニティを探したい
- ・日本語だけでなく日本文化やマナーを勉強したい
- ・イベントの情報がどこで手に入るか知りたい
- ・浜松にベジタリアンやハラルのレストランを作ってほしい
- ・ゆっくり、やさしい日本語で話してほしい
- ・もっと英語表記の看板や案内を増やしてほしい
- ・どこでクレジットカードが作れるか教えてほしい
- ・外国の文化や習慣を知って受け入れてほしい
- ・病院では英語が通じず、説明なく薬をくれるだけ
- ・運転免許がなかなか取れず、移動が難しい

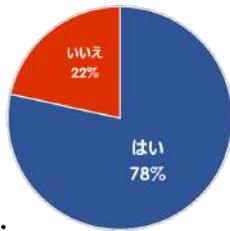
etc.

生の声



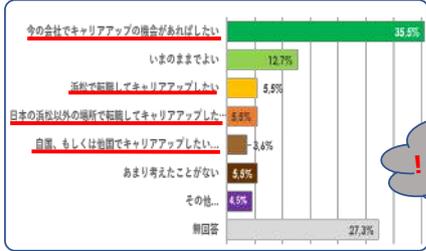
浜松での仕事状況と

浜松での
仕事状況に
満足して
いますか



今後のキャリアについて...

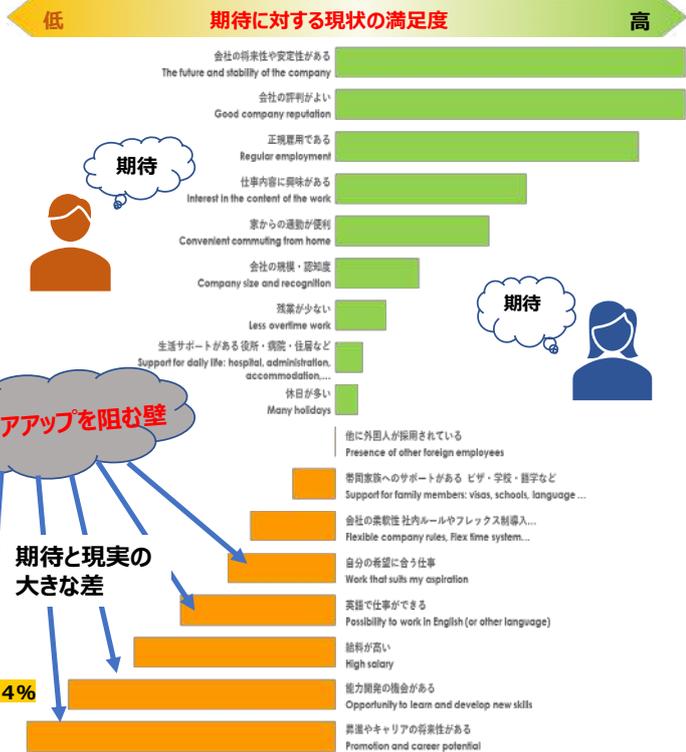
キャリアアップしたい！ 50.1%



日本の企業で困っていること

TOP5

- 「日本人のあいまいな態度や言い方などが理解できない」 5 5%
- 「職場独特の文化や専門用語がわからない」 4 6%
- 「仕事の評価法がはっきりしていない」 4 6%
- 「日本語能力が理由で自分の能力が評価されていないと感じる」 4 4%
- 「外国人は日本人と同じ機会を与えられていないと感じる」 4 4%

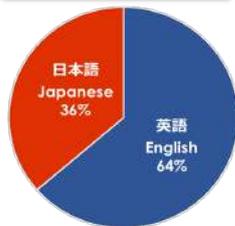


！キャリアアップを阻む壁

期待と現実の
大きな差

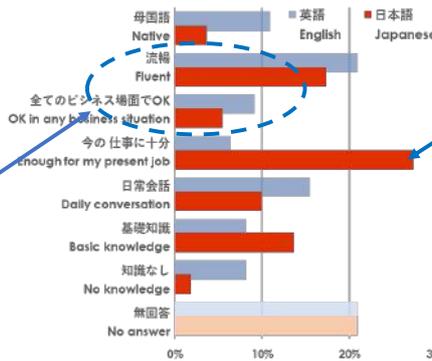
語学レベルと仕事でのコミュニケーション

アンケート回答言語



日本語レベルが高い人を見ると
半数以上が英語で回答

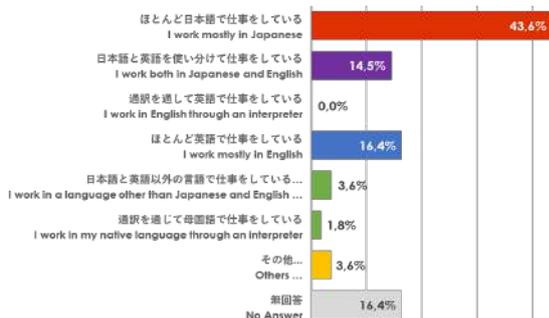
日本語と英語の語学レベル (自己評価)



日本語レベルが
「今の仕事に十分」
と評価する人が多い

- 主な理由
- これ以上のレベルアップを望んでいない
 - レベルアップしたいが勉強する時間がない
 - これ以上はレベルが難しくてあきらめている

仕事でのコミュニケーション方法



ほとんど日本語で仕事をしているにも
かかわらず困っていることは...

コミュニケーションで困っていること

TOP5

- 「日本語の書類を読んだり、書いたりするのに時間がかかる」 6 0%
- 「日本語が不十分なので上司や同僚とコミュニケーションがとれない」 4 7%
- 「日本語が不十分なので自分の意見をあまり聞いてもらえない」 4 4%
- 「英語が話せる同僚や上司がない」 4 4%
- 「英語で書かれた書類などが無い」 4 0%

言葉の問題と仕事への定着率



自己評価で日本語レベルが「今の仕事に十分」と評価する人が多い理由

！このレベルが日本語を非母国語とする人たちにとっては大きな壁となっている！

- レベルアップをしたいが勉強する時間がない
 - 高い日本語レベルを目指すには長時間の勉強が必要
 - 仕事が忙しくて勉強する時間が見つけられない
 - 夜間に受けられる日本語教室がない
- 日本語を勉強したいが自分の仕事に集中したい
 - 自分の仕事のスキルアップを優先にしたい
 - 仕事が忙しくて、日本語を勉強する余裕がない
- これ以上は急に難しいレベルとなりなかなか上達できない
 - 日本人や職場独特の言葉遣い、雰囲気理解できない
 - ある程度話せても読み書きは時間がかかって難しい

レベル	漢字文化圏の学生	1日1時間学習	漢字圏外の国からの学生	1日1時間学習
N1	2150時間	約6年	3900時間	約10.7年
N2	1475時間	約4年	2200時間	約6年
N3	900時間	約2年半	1325時間	約3.6年
N4	550時間	約1年半	788時間	約2.2年
N5	350時間	1年未満	463時間	約1.3年

参照：JLEC（日本語教育センター）
2010年12月～2015年7月の在日外国人語学学生からの統計結果

キャリアアップを阻む壁

！言葉の問題や受け入れ態勢が外国人材の仕事への定着率に大きく関わる！

- キャリアアップを望んでも顧客と接したり、部下を持ったりする「読み書きを含めたコミュニケーションを問題なくとる」といった高い日本語レベルが求められ、この壁の高さに諦めざるを得ない状況になっている
- 外国人という理由で同じ機会（能力開発やキャリアアップの機会）を与えられないと感じる
- 日本語能力が理由で自分の能力が評価されていないと感じる、仕事の評価方法がよくわからない
- 日本語が不十分のため上司や同僚とコミュニケーションがとれない、すべてを理解するのに時間がかかる
- 英語が話せる上司や同僚がいない、英語で書かれた書類や表示がない

生の声



アンケート調査ハイライトまとめ

アンケート調査から見た外国人市民の困り事

- 人々が交流する場所やイベントなどの機会が少ない
- 外国人が入居できる住まいが少ない、英語が通じる場所（銀行・病院など）が少ない
- 言葉の問題から、情報が得られなかったり、人とコミュニケーションがとれなかったりする
- お互いの国の文化や習慣など、相互理解が浅いために問題につながることもある
- 情報をどこで、どのように入手できるかわからないため、知りたい情報にたどり着けなかったり、情報を知らずに過ごしてしまうことがある
- 職場での言葉の問題や仕事のミスマッチ、外国人材受け入れ態勢が仕事への定着率に大きくかかわっている
- 地域での暮らしと仕事とのバランスがうまく取れていない

「誰もが住みやすいまち浜松を目指す」ために私達ができることは何か

- お互いの文化や習慣を知ったり、人と交流するための場所や機会をつくる
- 知りたい情報が得られる窓口をつくる
- 外国人市民の日本文化の学習・日本語レベル向上のための教室・研修内容を充実させる
- 日本人の外国語習得に対する意識啓発や外国人市民への異文化理解を図る
- 職場における外国人材の受け入れ態勢について考える
- 暮らしやすさと働きやすさのバランスがとれるようサポート体制を整える

アンケート調査「誰もが住みやすいまち浜松を目指す」の詳しい調査結果とご回答いただいたみなさんの貴重な生の声はwww.polybotics.comにてご覧いただけます。

浜松高度外国人材雇用・就労促進研究会名簿

令和元年9月9日

役 職	氏 名	会社・団体名/役職
会 長	斉 藤 薫	代表幹事：遠州鉄道(株)社長
副会長	加 藤 正 明	副代表幹事：セキスイハイム東海(株)社長
〃	守 田 泰 男	副代表幹事：遠州信用金庫理事長
委員長	石 川 雅 洋	政策委員長：(株)ソミック石川社長
副委員長	田 村 元	政策副委員長：(株)浜名ワークス社長
副委員長	江 口 英 和	政策副委員長：ローム浜松(株)社長
オブザーバー	池 上 重 弘	静岡文化芸術大学副学長
〃	前 嶋 康 寿	静岡県経済産業部理事
〃	佐 藤 宏 明	浜松市企画調整部国際課長
〃	佐 藤 洋 一	浜松国際交流協会業務執行理事
〃	清 野 訓 子	浜松市産業部
〃	湯 口 哲 世	浜松商工会議所理事
〃	西 村 功	浜北機械金属工業協同組合専務理事
○人材・企業マッチングWG		
座長(委員長)	石 川 雅 洋	(株)ソミック石川社長
アドバイザー	寺 田 良 太 郎	学校法中野学園理事長 (前オイスカ高校校長)
〃	藤 卷 義 博	静岡大学国際連携推進機構特任教授
〃	高 橋 清 二	(株)シーポイントネクスト社長
委 員	伊 藤 友 輔	委員：(株)林工組社長
〃	稲 垣 智 康	委員：(株)浜名湖エンタープライズ社長
〃	内 田 浩 幸	委員：内田計器工業(株)社長
〃	古 塚 孝 志	委員：(株)ロック・フィールド副社長
○浜松地域情報発信・提供WG		
座長(副委員長)	江 口 英 和	ローム浜松(株)社長
アドバイザー	三 井 い く み	iN HAMAMATSU.COM代表
〃	水 嶋 敏 成	遠州信用金庫地域サポート部副部長
委 員	森 川 厚 孝	(株)モアソングジャパン会長
〃	鳥 居 大 資	鳥居食品(株)社長
〃	中 村 仁 志	中村建設(株)社長
〃	晝 馬 明	浜松ホトニクス(株)社長
○外国人材サポートWG		
座長(副委員長)	田 村 元	(株)浜名ワークス社長
アドバイザー	内 山 夕 輝	(HICE)浜松市外国人学習支援センター主任
〃	野 末 友 貴 子	p o l y b o t i c s
〃	原 田 博 子	NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ 理事長
〃	宮 城 ユ キ ミ	COLORS代表
委 員	鈴 木 雅 太 郎	(株)マルマ社長
〃	杉 本 泰 宣	(株)スクロール執行役員
〃	渡 部 克 明	ヤマハ発動機(株)副社長
政策諮問委員	晝 馬 日 出 男	浜松フィルハーモニー管弦楽団理事長
〃	前 嶋 文 明	ソフトプレ工業(株)社長
〃	村 山 孝 司	むらやま代表
〃	中 村 嘉 宏	(株)中村組社長
〃	中 野 勘 次 郎	学爽青会理事長
〃	竹 内 精 一	山竹猪産業(株)社長
〃	松 本 好 司	(一社)遠州知恵袋理事
〃	須 山 宏 造	須山建設(株)社長
〃	野 沢 浩 樹	(株)シーポイント社長

事務局より

- 本提言書、ならびにアンケートにつきましては、浜松経済同友会ホームページよりダウンロードできます。
- サミット開催状況についてもご覧いただけますのでご利用下さい。
- 資料等についてのお問合せは下記まで

浜松経済同友会 事務局

TEL : 053 - 454 - 0120

FAX : 053 - 454 - 0121

E-mail : keizai-doyukai-h@snow.odn.ne.jp

URL : <http://hamamatsu-doyukai.jp>